

授業科目 義肢学Ⅰ（義手）

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	義肢
月 城 慶 一、東 江 由起夫 大 塚 博、福 田 弘 和		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 上肢切断に関して、切断によって失う機能を学習し、現実に行われているリハビリテーションについて、プログラムや具体的なゴールの違い、リハビリテーションについて学習する。その後、義手について種類と基本的なしくみ、機能的利点と欠点などを整理して把握し、実習に備えて知識面を充実させる。					
【学習目標】 1. 上肢切断に関して、切断によって失う機能を説明できる。 2. 義手を用いた上肢切断者のリハビリテーションについて説明できる。 3. 義手の種類と基本的なしくみについて説明できる。 4. ハーネス式能動義手について、しくみと特徴を説明できる。 5. 筋電義手について、しくみと特徴を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション(切断原因、構成要素、製作の流れ、リハビリテーションの流れ)			1, 2	講義
2	切断レベルと義手の種類について			1	講義
3	ソケットについて			3	講義
4	義手を構成するパーツについて			3	講義
5	ハーネス式能動義手について			4	講義
6	筋電義手について			5	講義
7	上腕義手について			4	講義
8	義手を用いたリハビリテーションについて			2	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版	2007・7,350円
その他の資料					
【評価方法】 出席50%、宿題30%、最終テストまたはレポート20%		【履修上の留意点】 原則、授業の1/3までの欠席の者は、科目評価資格を失うものとする。 遅刻2回で1回の欠席とする。 最終評価から1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点とする。			